

NPO 法人 P. L. A からのご案内

傾聴ボランティア研修等のご担当者様へ

日頃お世話になります。

現在世界に広がるコロナウイルスとの関わり(生活様式の変化)が、問われています。ご担当者の皆さんには、ご苦勞も多いこととお察しいたします。これから先も現状と、しばらくは共生することとなります。半面、今ほど「傾聴ボランティア」が必要な時ありません。利用者さんは待っています。しかし、それは、叶わない現状です。担当者各位には、開催、企画などに苦慮しておられることと思います。当法人といたしましても同様です。頭の痛いことです。そこで、手をこまねいては、いられません。当法人としても検討し取り組んでおります。まだ、決定ではありませんが、主催者の方々と協議しながら次のことを考えています、ご参考にさせていただくと幸いです。どうぞ、どしどしとご意見をお寄せください。知恵を出し合い、この状況をのり越えて行きましょう。必ず出来ると信じています。

●研修(講座)内容について

- ①傾聴の基本は、従来通り、全体研修
- ②傾聴技能習得について、体験学習は欠かせません、しかし、3蜜は、避ける必要があります。例えば、3人組ロールプレイを2人組ロールプレイに代える。しかも、適切な距離を取って、シナリオを使用したり、或いはその他工夫をする。
- ③参加者の質問に丁寧に答え、共に考え、具体的な例を出しながら進める
- ④当法人作成の研修資料を活用した方法
- ⑤参加者の傾聴姿勢の習得に大切なこととして、ふりかえりや自主学習への取り組み
- ⑥「電話による傾聴」のあり方など

●会場及び参加者について

- ①教室スタイルで全員前を向き、一つの机に1~2人(間隔を開ける)。そのため、会場は、参加人員の2倍位の部屋を確保する。換気を良くする。休憩を増やすなど
- ②参加者について:参加日検温の励行。マスク着用。手洗い励行。自分の筆器具用意
- ③主催者には、必ず、毎回消毒液準備と感染防止対策への呼びかけをする

●講師陣

通常人員+補助要員を配置する(きめ細かな対応のため)

2020年5月末

NPO 法人 P.L.A 理事長 後庵正治